

○参加報道機関（敬称略）

信濃毎日新聞社飯田支社、毎日新聞飯田通信部、中日新聞飯田支局、南信州新聞社、  
ICTV(株)飯田ケーブルテレビ、I ステーション飯田エフエム

○会見内容（敬称略）

進行【秘書広報課長】

1 開会

2 市長あいさつ

本日はムトス飯田助成事業の決定と交流会の開催、上村小学校学校見学会・説明会について発表いたします。また、定例記者会見の終了後、飯田市役所の事業所として、「イクボス・温かボス宣言」を行いますのでお願いいたします。

3 発表事項

(1) ムトス飯田助成事業の決定と交流会の開催について【市民協働環境部】

資料にもとづき説明

説明者：市民協働環境部長、ムトスマちづくり推進課長

〈質疑応答〉

南信州新聞

応募件数とそれぞれの採択回数を教えてください。

飯田市

応募件数は 28 件でした。

採択回数は次のとおりです。

通番	応 1	応 2	応 3	応 4	応 5	応 6	応 7	応 8	応 9	応 10
採択回数	2	2	2	1	1	2	3	1	2	1

通番	応 11	応 12	応 13	応 14	応 15	応 16	応 17	応 18	応 19	応 20
採択回数	3	3	1	2	1	2	1	2	1	1

通番	応 21	応 22	応 23	応 24	応 25	応 26	応 27	応 28
採択回数	3	1	1	1	1	3	2	1

## 南信州新聞

追加募集は行いますか。

## 飯田市

今回はありません。

## (2) 上村小学校 学校見学会・説明会について【教育委員会】

資料にもとづき説明

説明者：教育長、教育次長、上村小学校長

### 教育長

昨年度、飯田市教育委員会は、上村小学校を小規模特認校と指定しましたが、今年度から市内の他地区から児童を受け入れ、順調にスタートしています。順調にスタートできたことに関して、上村の地域の皆さん、送り出す側の地域の皆さんにご協力いただいたこと、メディアの皆さんに報道いただいたことを感謝いたします。

### 飯田市

学校見学会・説明会当日は通常の授業があり、児童の通学用の車は7時10分に出発します。見学会・説明会用の送迎車は、通学用と同じコースで上村小学校へ行きますが、別の車で7時50分に出発します。

7月19日・20日については学校見学会の第2弾を考えています。保育園と小学校との連携や体験学習などをポイントに計画しています。また、希望される方には上村のすばらしさを体験してもらうため、宿泊も斡旋したいと思っています。この小規模特認校の制度は、飯田市に住所があって通学区が違う児童を受け入れるものですが、教育移住という観点からも市外の皆さんにもPRして、参加していただきたいと考えています。詳細は後日発表いたします。

## 〈質疑応答〉

### 中日新聞

今の児童数を教えてください。

### 上村小学校長

児童数9名のうち、特認校制度を利用して通学している児童が1年生と4年生に1名ずついます。

### 毎日新聞

9名の児童の学年の内訳を教えてください。

### 上村小学校長

1年生が1名、2年生が1名、3年生が1名、4年生が2名、5年生が1名、6年生が3名です。

### 中日新聞

制度がスタートして課題などはありますか。

#### **飯田市**

通学に片道 50 分かかるので、子どもの体力面を心配していました。最初のうちは帰りのバスの中で寝てしまうことが多かったのですが、最近は体力も付いてきたようで、寝ることもなくなりました。小さな学校ですが、それ故に学年を超えて仲良く学校生活を送っているようです。

生活している地域が上村ではないので、その地域とのつながりや地域の子どもたちと交流については課題があると考えています。

#### **中日新聞**

全国で教育移住が成功している例を教えてください。

#### **教育長**

一番有名なのは隠岐の島で、高校生を中心に行っていますが、そこから派生して小中学生も含めて教育移住が非常に進んでいます。また佐賀県の武雄市も住居のバンクなどいろいろな教育移住に関する制度を持ちながら教育移住を進めている自治体です。

#### **4 その他**

特になし

この内容については、言葉遣いや言い回しなどを整理した上で作成しています。

(作成：秘書広報課広報広聴係)